

令和7年度四国高等学校ゴルフ選手権大会 高校団体の部

兼 Sky presents 2025 年度 全国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会

文部科学大臣旗争奪 第46回高校団体の部 四国予選

< 競技の条件 >

1. ゴルフ規則

2019年度日本ゴルフ協会ゴルフ規則と本大会特別規則による。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

3. クラブと球

- a. 適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型 G-1 を適用する。

このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格

- b. 適合球リスト：ローカルルールひな型 G-3 を適用する。

このローカルルールの違反の罰：失格

注：適合クラブと球の更新されたリストは www.randa.org で閲覧できる。

4. 競技方法

1日18ホール、2日間合計36ホールズ・ストロークプレーで1校4名（補欠1名）による団体戦とする。

（3名でも出場可とする）

- a. 各校4名のうち各日上位3名の2日間合計の総ストローク数の少ない学校を上位とする。

すべての順位決定において、2日間合計の総ストローク数が同数の場合は、2日間の4人の合計ストローク数の少ない学校を上位とする。ただし、出場選手の人数が3名より4名の学校を上位とする。

- b. さらに同数の場合は、優勝決定の場合のみ、競技委員会の指定するホールで代表1名によるホールバイホールによるプレーオフを行う。但し、プレーオフが行えないと競技委員会が判断した場合には、最終日の4人の総ストローク数が少ない学校を上位とする。

- c. さらに同数の場合は最終日の4人の総ストローク数による（1番ホールスタートの場合）10番から18番、（10番ホールスタートの場合）1番から9番でのマッチングスコアカード方式で順位を決定する。

5. 練習

- a. ストロークプレーでは、規則 5.2b は次のように修正される。

プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技が行われるコース上で練習してはならない。

- b. プレーヤーは2つのホールのプレーの間、次のことをしてはならない。

・終了したばかりのパットンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。

・終了したばかりのパットンググリーンの表面を擦ったり、球を転がすことによってパットンググリーンをテストする。

6. プレー中断と再開方法（規則）5.7b

以下のプレーの中断、再開には「カートナビまたはレフリー」から連絡する。

差し迫った危険のための即時中断、危険な状況ではない中断、プレーの再開

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合は、全ての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

7. 移動

手引きカート使用可。ラウンド中プレーヤーは動力付きの移動機器に乗車してはならない。

8. キャディ

正規のラウンド中、競技者のキャディ使用は禁止する。

9. 競技の短縮

荒天のため競技が出来なくなった時の処置は、競技委員会が定める。

10. 使用ティー

本競技のティーマークについては、男子：紫杭、女子：黄杭 で表示する。

11. プレーのペース

- プレーのペース方針と違反の罰
- ・バッドタイム 1 回目：レフリーからの口頭での警告
 - ・バッドタイム 2 回目：1 打罰
 - ・バッドタイム 3 回目：さらに 2 打罰
 - ・バッドタイム 4 回目：失格

12. アウトオブバウンズ

アウトオブバウンズの境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

13. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む） 規則 16

a. 修理地

1. 青杭を立て白線で囲まれた区域
2. 委員会が異常な損傷とみなした地面

b. 動かさない障害物

1. 白線の区域と動かさない障害物が告げられている場合、または動かさない障害物と他の動かさない障害物が接している場合は、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
2. 人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。

(注意事項)

- (1) 開催当日及び練習日は、以下の事項を守ること。
 - ① 競技中の服装は、日本高等学校ゴルフ連盟のユニフォーム規定に従うこと。
 - ② ローカルルール、目土袋、スコップ、グリーンフォークを必ず携帯すること。
 - ③ 競技日 3 日間は毎日ロッカーが変わります。清算は各日で行うこと。
- (2) ラウンドについて
選手は担ぎプレー（手引きカート利用可）。
ハーフターン休憩約 60 分あり。
スタート前の練習は 1 カゴ 30 球（550 円）、練習場までは顧問が送迎すること。
ホールアウト後の練習グリーン使用は本部に確認すること。
競技 2 日間、ハーフ終了後にマスター室前でハーフチェック（ルール、スコア）を行います。
また、マスター室にてスタート時間の確認を必ず行うこと。
- (3) クラブハウス内について
浴場への出入は禁止します（雨天時は利用可能）。
レストランでの朝食利用はできません。
練習グリーン、ロッカールームでの飲食は禁止します。
各自で持ち込んだ食べ物は、学校公用車の車内またはレストラン奥側で飲食すること。
- (4) その他
参加選手のプレー代は毎日精算すること。
費用精算について、フロントへ申し出てください（個人払い、全員一括払いなど）。
競技日は、手引きカート・キャディーバックの置き場をスタート室横に設けます。
クラーボックスは、指定場所に保管すること。

競技委員長 吉岡一郎

四国高等学校ゴルフ選手権団体の部 行動規範

四国高等学校・中学校ゴルフ連盟は、参加するプレーヤー、競技を開催していただいている倶楽部、そしてこの競技開催に関わるスタッフすべての人々の質に誇りを持っています。この競技がすべての人々に楽しんでもらえるように、すべての参加プレーヤーはこの行動規範に従わなければなりません。行動規範は練習ラウンドを含めこの競技の開催期間中はすべての参加プレーヤーに適用されます。

この規範の目的は、プレーヤーに自らの行動の結果を知ってもらうために、プレーヤーに期待されることを説明し、違反となる行動を明確にすることにあります。規則 1.2「プレーヤーの行動基準」に基づき、プレーヤーはこの行動規範の内容を知っておかなければなりません。

《行動規範の違反となる行動の例》

- ・ コースの保護をしない（例：バンカーをならさない、ディボットを元に戻さないなど）。
- ・ 受け入れられない言動をする。
- ・ クラブ、コースを乱暴に扱う（クラブを投げたり、コースを損傷させるなど）。
- ・ 他のプレーヤー、レフリー、大会関係者、ギャラリーに失礼な態度をとる。
- ・ いじめ、ハラスメント、差別、脅迫。
- ・ 日本高等学校・中学校ゴルフ連盟のユニフォーム規定に従わない。
- ・ その他ゴルファーとして相応しくない態度。

《行動規範の違反の罰》

行動規範の最初の違反－レフリーからの警告。

2 回目の違反－1 罰打。

3 回目の違反－2 罰打。

四国高等学校・中学校ゴルフ連盟